

ただいま！

地域おこし協力隊として帰ってきた中澤です！

平成 29 年度末で卒隊を迎えた第 1 期地域おこし協力隊に引き続き、平成 30 年度から新たに第 2 期の地域おこし協力隊員が着任しました。

これから市を盛り上げるためにさまざまな活動に取り組んでいきます。



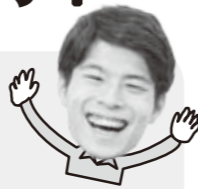
地域の方がみんな
住居を用意してくれました！



福井市長にあいさつをし
決意を述べてきました！



中澤隊員の コメント



みなさん、こんにちは。

5月から地域おこし協力隊として着任しました中澤です。

実は2年前に緑のふるさと協力隊として1年間朽木地域に住んでいました。その後、東京へ戻りましたが、毎日のように満員電車に乗り、1日のほとんどをデスクワークで終える中、『自分に合った生活とは何なのか。』と考えたとき、高島市で暮らした日々を思い出しました。“高島市へ帰りたい！”という思いを抱き、今回、地域おこし協力隊として高島市へ戻ることができました。

新たな地域に入りましたので、また一から高島市を知るつもりで活動していきますので、よろしくお願いします。



地域の皆さんに初めましての
あいさつをしました！

受け入れる角川区のコメント

「地域おこし協力隊が角川区に入って…」

若者が来たことで、自分の子どもが帰ってきてくれたような感覚です。中澤くんには、区のサロン活動や竹細工の普及に期待をしています。竹細工は、将来的には角川区の名物にしていきたいので、若者の柔軟な発想を取り入れて、区に新たな風を巻き起こしてほしいと思います。



お世話になる
角川区の皆さん

プロフィール

氏名：中澤 勇太
年齢：22 歳
出身地：東京都
経歴：緑のふるさと協力隊（朽木）
（平成 28 年度）
着任日：平成 30 年 5 月 1 日
活動：今津西地区を中心に活動
（その他市内各地でも活動予定！）

「たかしまLIFE」とは・・・

たかしまLIFE!!

たかしま「ら」しく、いき「い」きと、「ふ」るさまで。

たかしまの良さを生かし、暮らし、働き、学び、育ち合う。そんな活動や知恵、人や想いを紹介、つなげるページです。皆さんも自分流の「たかしまLIFE」を見つけてみませんか？

集落を考えるアンケートワークショップ Vol. 1

全国的に少子高齢化が進み、道路や水路の清掃作業など、そこに住み続けるために必要な活動や、祭り・運動会といった文化や技能の伝承が十分に行えなくなるなど集落機能が低下しています。

市内においても、そのような地域も見受けられるようになってきたことから、住民自らが地域の現状を知り、集落に住むみんなで課題を見つけ、今後の集落運営の仕組みについて考えることが必要です。

昨年度は、アンケートづくりを通して考える「アンケートワークショップ」という手法を使って、マキノ東小学校区の地域の皆さんと取り組みました。

区・自治会から推薦していただいた住民の方で構成する「これからのマキノを考えるアンケートワークショップ委員会」では、アンケート内容の検討・作成ワークショップを行い、地域の中学生以上の全員を対象にアンケートを実施しました。

▽アンケートワークショップの流れ

地域の現状を知って、課題と資源について考える

将来の地域を考えるためのアンケートづくり

アンケートの実施

アンケート調査結果報告会の開催



A～Zで地域の宝探し！



みんな「ワイワイガヤガヤ」アンケートづくり

▽アンケート結果の一部を紹介します マキノ東小学校区編

Q1. どのように感じていますか？

Q2. これから何が必要だと思いますか？

良い所

区やご近所の雰囲気
清掃などの共同作業
イベントやサロンの場

悪い・不安なところ

イノシシやサルなどの獣害対策
医療や介護を受ける環境
日常の買い物

- 1位 高齢でも安心して買い物や通院ができること
- 2位 安心して暮らせる地域であること（防犯対策）
- 3位 災害に強い地域であること

平成 30 年度は、今津西地域（保坂、椋川、角川、天増川、杉山）を対象に、アンケートワークショップを実施する予定をしています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。